

カフェ

全世代
無料!

高校生ウィークの期間中、ギャラリー内に無料カフェをオープンします。
セルフサービスのカウンターにコーヒーやお茶が用意しており、
高校生に限らずご利用いただけます。今年はカフェの中に小屋が出現します!

カフェ小屋根

期 間 | 3月6日(日)ー4月3日(日)

※月曜休館。3/21(月・祝)は開館、翌3/22(火)は休館

時 間 | 火〜金 15:00ー18:00

土・日・祝 13:00ー18:00

会 場 | 水戸芸術館現代美術ギャラリー内ワークショップ室

※一般の方のご利用には展覧会入場料が必要です

SEWING+DIY

会場に用意された材料や道具を使って、毎日自由に裁縫や工作ができます。今年は木工作家の高山英樹が作った小屋に、あなたの手を加えることができます。小屋作りに使った木材やビニールを手に自由にしつらえを変化させてみてください。

BOOKS

アーティストの田中功起や土屋紳一など、スタッフが高校生のために選んだ書籍、展覧会のカタログや雑誌、マンガなどが並びます。本の交換ができる本棚もあります。

SWEETS

水戸高等特別支援学校で製菓の勉強をしている高校生が作ったお菓子を提供、販売します。(不定期)

カフェスタッフ募集!

お茶の準備や会場案内、ワークショップのサポートなど運営を担うボランティアスタッフを募集します。

人 数 | 25名

対 象 | 高校生以上

条 件 | 期間中に5日以上参加できる方

(社会人は3日以上)

※3/5(土)にガイダンスあり

活動時間 | カフェ開場時間+前後30分

※申込方法は下記にあります

ARCHIVES 「高校生ウィークアーカイブ」

有志のメンバーによって、これまでの高校生ウィークから生まれたさまざまな記憶や物語を集め記録をつくっています。資料を集めたコーナーを設置します。

特設サイト <http://arttowernito.or.jp/hssw/>

※今まで実施したインタビューやアンケート、ブログなどがご覧いただけます

EXHIBITION PRELIBRI 「春の標本箱」

自分たちの手で少部数の本や小冊子を作って発表しているPRELIBRIの展示です。春をテーマにPRELIBRIが制作した標本箱の展示と参加者が自由に制作できる場があります。

参加費 | 100円

※高山英樹、PRELIBRIは期間中ワークショップがあります。詳細はプログラム欄をご覧ください

プログラム

カフェ内では、ワークショップやイベントを行います。
アーティストたちと一緒に、考えたり、つくったりしましょう。
特に記載がないものは、参加費無料、申込不要、会場はカフェです。

ワークショップ

ファミリー編集アルバム

要申込

それぞれの家にある写真を持ち寄って、並べてみます。一枚の写真には、どんな物語があるのでしょうか? みんなでそれを考えながら集まった写真を素材にして、松本美枝子(写真家)と一緒にひとつの作品としてまとめます。

日 時 | ① 3月 6日(日) 14:00ー17:00

② 3月26日(土) 14:00ー17:00

※2回とも参加できる方

定 員 | 10名

対 象 | 高校生以上

講 師 | 松本美枝子(写真家)

持ち物 | 家にある写真で自分がいい写真だと思うものを数枚(自分以外の人が撮った写真でも可。プリントのみ。)

※作品にするとときは、元の写真を拡大コピーして使用します

春の標本箱

要申込

一之瀬ひろ(写真家)と小熊千佳子(グラフィックデザイナー)のユニットPRELIBRIと早春の水戸のまちをめぐる。まちにある気になるものを採集して、春の標本箱をつくります。

日 時 | 3月12日(土) 13:00ー15:30

定 員 | 15名

対 象 | 高校生以上

講 師 | PRELIBRI(リトルブックレーベル プレリプリ)

持ち物 | 標本箱に入れたいもの

参加費 | 500円

体感する! カセットテープの時間

要申込

カセットテープは時間軸に沿ったシンプルな操作方法で長く多くの人に愛用されてきました。開催中のクリテリウム92の作家、土屋紳一はそんなカセットテープに込められた人々の思い出をテーマにした作品を発表。作家と一緒にカセットテープに声や音を録音、再生してその魅力を発見、再確認します。

日 時 | 3月19日(土) 14:00ー16:00

定 員 | 10名

対 象 | 高校生以上

講 師 | 土屋紳一(アーティスト)

持ち物 | カセットテープ(ある方のみ、内容は何でもOK)

※期間中カフェ内にカセットテープレコーダーを設置します

木のスプーン作り

要申込

ある程度出来上がったスプーンを手の感触を確認しながら、磨いて仕上げるワークショップです。最後にオイルを塗って完成します。すぐその場で使えますよ!

日 時 | 3月20日(日) 13:00ー15:00

定 員 | 15名

対 象 | 中学生以上

講 師 | 高山英樹(木工作家)

参加費 | 2,000円

こども・アート・まちをつなぐ「おとなの美術部」

水戸のまちで行われている、こどもとアートに関わる取り組みについて共有しながら、その活動をサポートする緩やかなネットワークづくり(おとなの美術部)を始めます。それぞれのやりたいことを持ち寄りつつ「こどもとアートのつなぎ方」について作戦会議を行います。

日 時 | 3月21日(月・祝) 15:00ー17:00

対 象 | 高校生以上

部長(仮) | 北澤潤(アーティスト)

面白建築研究会

要申込

水戸のまちを巡りながら、面白い建具装置(ドア・窓)を発見します。各時代に生きた先人たちがどのような利便性、装飾性を求めたのかを探ります。

日 時 | ① 3月27日(日) 13:00ー17:00

② 4月 2日(土) 15:00ー17:00

定 員 | 10名

対 象 | 高校生以上

講 師 | 菊池政也(マーサ隊長/棟梁)
小堀文剛(コボ隊長/一級建築士)

持ち物 | カメラ(携帯電話可)

イベント

春の小さな古本市

全国各地から、小さな古本屋がやってきます。

アートの本、絵本や雑誌が並びます。

日 時 | 3月19日(土)ー21日(月・祝)

13:00ー18:00

参加店舗 |

Li:ttle(水戸)、古書 信天翁(日暮里)、オヨヨ書林(金沢)、CLARIS BOOKS(下北沢)、chronicle suddenly café(古河)ほか

文化祭「ぶぶんぶんかさい」

最終日、カフェやテラスの一角で文化祭を行います。展示販売やワークショップなどをお楽しみください。

2日(土)も前夜祭として営業があります。

日 時 | 4月2日(土) 前夜祭

4月3日(日) 文化祭本祭

13:00ー18:00(両日とも)

集まる人たち |

Kamos(野菜)、暗やみ本屋「ハックツ」(古本と手紙)、放課後の学校クラブ(小学生によるオリジナル授業)、吉田事物屋(不要になった物の形を変えて展示販売)ほか

文化祭実行委員会 メンバー募集!

4月3日にカフェの一部で開催される「ぶぶんぶんかさい」の実行委員を募集します。開催中の展覧会を手掛かりに、身近な共同体である「学校」について振り返りながら、オリジナルの文化祭をつくります。おなじみの学校行事とは一味違う芸術館の文化祭に関わってみませんか?

日 時 | 第1回実行委員会

3月21日(月・祝) 10:30ー12:30

文化祭本祭

4月3日(日) 13:00ー18:00

※文化祭準備の日程は第1回目に話し合って決めます

定 員 | 10名

対 象 | 高校生以上

顧 問 | 市川寛也(筑波大学助教)

展覧会

高校生
無料!

期間中、高校生は無料で何度でも
現代美術ギャラリーの展覧会が見られます。

招待対象 | 高校生または15歳〜18歳の方

招待期間 | 3月6日(日)ー4月3日(日) 高校生ウィーク期間中

入場方法 | 年齢または学籍がわかる身分証明書を水戸芸術館エントランスホールチケットカウンターにご提示ください。

鑑賞できる展覧会

田中功起 共にいることの可能性、その試み

アーティスト田中功起による映像を主とした展覧会です。テーマは共同体。共同体と聞くと少し難しく感じるかもしれませんが、私たち誰もが所属している学校や家族も共同体のひとつです。アーティストはこの展覧会のために、6日間の共同生活をする参加者を募集しました。朗読、料理、陶芸などを一緒に行うなかで、年齢や性別、職業のような背景が異なる人たちが、その人らしく「共にいること」について、考えたり話したりしました。この展覧会では、共同生活の記録をもとに作られた映像が主に展示されます。

【展覧会情報】

会 期 | 2月20日(土)ー5月15日(日)

時 間 | 9:30ー18:00(入場は17:30まで)

会 場 | 水戸芸術館現代美術ギャラリー

休館日 | 月曜日 ※ただし3/21(月・祝)は開館、翌3/22(火)は休館

入場料 | 一般 800円、前売・団体(20名以上) 600円、中学生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方 1名は無料

※高校生ウィーク終了後は年間パス「ハイティーンパス」がお得。ギャラリーに何度でも入場できます。(価格1,000円)



「一時的なスタディ:ワークショップ#4共にいることの可能性、その配置」2015-2016(制作風景) 6日間の共同生活、ワークショップ、記録映像

